

手回書へ回答せられた。

關東精糖會へ回答書及び書牘簿一覽函聯合パリの書牘書ニ復せり。

吉 州 新 報 二 週 誌

二十七日聯合外答

日本労働回書會 磯木文彦

大正十四年三月廿八日

聯合外答書

本ニ復せられたハ聯合外答書或日中ニ中央委員會ヨリ關東ニ送附ハ

三月三十日ハ手紙にてリマセられた。

三月廿八日ハ手紙に關連して貴聯合會ノ宝々々々々々々々々々々々々々々々

々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

回 答 書

本ニ復せられたハ聯合外答書或日中ニ中央委員會ヨリ關東ニ送附ハ

財團法人協調會大阪支所

更ニ本月廿八日大阪聯合側委員會ニ於テハ西尾、塚本氏及び其他大阪聯合會ニ所屬セル當面ノ責任幹部ハ己々其ノ責任アル地位ヲ退ク旨ヲ申出デルニ及ンダ。

以上ガ今日迄ニ至ル經過ノ内容デアル。ソコデ我等ハ此ノ問題ニ對スル我等ガ組合ノ見解及ビ態度ヲ明カニスルデアロウ。

(七) 我等ノ見解ト態度

除名派ガ大會ニ於テ形勢不利ト看テ取ツタ結果之ヲ一度ハ引込メ今度ハ中央委員會ニ於テ處斷セントシタ六名除名ノ直接ノ動機トナツタモノハ前述セル如ク大會議場ニ於ケル質問ト討論デアル。元來労働組合ハ思想団体デハナクテ労働者ガ主トシテ經濟上ニ於ケル階級的利害ノ一致ニ依リ結束シテ資本家階級ト日常ノ部分的利益ノ獲得ノ爲メニ抗争シナガラ無産階級解放ノ終局ノ目的ニ向ツテ一步一步進ム處ノ団体デアル以上其ノ内部ニ諸種ノ思想的傾